

科目名	企業論B Corporate Management B						
科目担当者	本田 信雄 HONDA Nobuo						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	本講義では、企業の意味およびその役割について検討し、同時に、企業をめぐる諸問題についても考察していく。主に取り扱う内容としては、企業形態の展開、結合企業形態、公企業、NPO(非営利組織)、ベンチャー・ビジネス等を予定している。						
授業の到達目標	①企業の概念および企業形態について理解する。 ②結合企業形態について理解する。 ③企業の意味およびその果たすべき役割について理解する。 ④NPO(非営利組織)やベンチャー・ビジネスについて理解する。						
授業計画・内容	1	企業形態の展開(1)－企業の概念およびその種類について					
	2	企業形態の展開(2)－諸企業形態の比較					
	3	結合企業形態(1)－結合企業形態の諸類型、業界協定					
	4	結合企業形態(2)－取引系列					
	5	結合企業形態(3)－M&A(定義・種類・目的)					
	6	結合企業形態(4)－日米における M&A、敵対的 M&A への防衛策					
	7	結合企業形態(5)－企業集団①(定義および種類、6大企業集団)					
	8	結合企業形態(6)－企業集団②(6大企業集団メンバー企業間の関係とその変容)					
	9	公企業(1)－公企業の定義・性格・種類					
	10	公企業(2)－設立主体(母体)による区分とその内容①(政府公企業)					
	11	公企業(3)－設立主体(母体)による区分とその内容②(地方公企業)					
	12	非営利組織(NPO)(1)－NPO の定義・成立条件・特徴					
	13	非営利組織(NPO)(2)－NPO の存在意義、企業との関係					
	14	ベンチャー・ビジネス(1)－ベンチャー・ビジネスの定義とその特徴					
	15	ベンチャー・ビジネス(2)－日米におけるベンチャー・ビジネスの発展、まとめ					
授業外学修 (事前学修)	テキスト、配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく (毎週 2 時間)						
授業外学修 (事後学修)	テキスト、配布資料・講義内容ノートに目を通し、課題実施に備えておく(毎週 2 時間)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	後期末定期試験(またはレポート) 講義時の課題(レポートまたは小テストを計 6 回)				50% 50%		①②③④ ①②③④
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	小松 章『企業形態論(第 3 版)』新世社 ※その他、必要に応じて資料を配布する。						
参考文献	なし						
その他	この「企業論 B」を履修する前に、「企業論 A」を履修済みであることが望ましい。						